

## Digital Story Project Script

おはようございます。私はこのプロジェクトで日本と韓国の高校生活と文化を比べたいと思います。日本と韓国の高校はよく似ていますが、違うこともたくさんあるので面白い比較になると思います。

まず、日本の生徒は高校に入る時受験を受けます。韓国の高校も日本とたいてい同じですが、受験を受けなくてもいい高校もたくさんあります。これは地域と学校によって違います。そして、韓国の高校種類が多いです。科学高校、外国語高校、工業高校、商業高校などの高校があります。それぞれの高校は目的が違うので習う科目やシステムが違います。たとえば外国語高校ではアメリカや、日本、そして世界の有名な大学に入るために外国語を専門的に教えます。最近ではゲーム高校（ゲームプログラミング）、アニメーション高校もよくあるそうです。

次は、高校三年間の生活について比べましょう。日本と韓国の高校生両方が一年生の時はみんな同じ科目を勉強します。でも、二年生になったら、文系と理系に分かれて勉強します。文系の学生は社会とか文学のような科目を勉強して、理系の学生は科学と数学をもっと勉強します。

勉強以外に、生徒たちは学校のクラブや行事にも参加します。日本の高校のクラブの種類は多いです。スポーツクラブから文系、そして趣味活動をするクラブもあって、高校生活を楽しくします。

日本の高校生と違って、韓国の高校生はあまり部活動をしません。学校にクラブ

がありますが、ほとんどの学生たちは勉強が忙しくて、部活動をする時間がないと思います。韓国の高校生は、1年生から大学の準備をしなければいい大学に入れないので、先生や親たちも部活動のことを良く思っていない。

ほかの共通の学校行事は修学旅行、文化祭、体育祭です。でも韓国の高校では時々修学旅行の代わりに修練会という旅行にも行きます。これは修学旅行と少し違って、田舎の山や川に二泊三日ぐらい行って、軍隊体験のような訓練をします。そして最後の日は絶対にキャンプファイヤーをする伝統があります。

それから日本と韓国の高校両方で制服を着ます。日本の制服はたいてい大きい上衣と短いスカートですが、韓国の制服は日本のよりもっとタイトです。制服の目的は学校の特性や雰囲気を見せることだと思います。制服がきれいだからその学校をえらぶ学生もいるそうです。

最後に、大学受験と卒業した後のことについて比べたいと思います。有名な大学に行ったら、社会で成功する確率が高くなるので、日本と韓国の高校生は両方大学のためにたくさん勉強します。韓国のほとんどの高校には、夜間自律学習という規則があります。それは、授業の後、学校に残って、夜まで勉強させることです。それ以外にも塾にも行って勉強したりします。

高校三年間頑張って勉強したら、日本の高校生は1月にセンター試験を受け、韓国の高校生は11月に修学能力試験という大学入学試験を受けます。両方の試験は一年に一回しかないので試験で悪い成績をとったらもう一年待たなければいけません。

調査によると、日本の高校生の50%は大学に行きますが、韓国の高校生は83%も大学に行きます。この高い数値から韓国の教育熱がわかりますが、それは

大きい社会問題になりました。社会にはそんなに多くの大学卒業生がいないのに、みんなが大学卒業生だったら、特種な仕事にしか人が集まりません。仕事のバランスが崩壊してしまいます。

今まで日本と韓国の高校について比べました。日本と韓国の高校はとても似いますが、違いもたくさんあるので、文化の違いも分かりやすいと思います。ありがとうございました。